



J-PARC MLF利用者懇談会

第23回(令和4年度第1回)総会

2023年3月13日(月)

13:30～15:00

(ユーザーの要望への対応をふくむ)

オンライン

次 第

1. 会長挨拶
2. 第8期幹事会構成
3. 令和4年度活動報告
4. 令和4年度決算報告見込み
5. 令和5年度活動計画
6. 令和5年度予算案
7. 審議事項:なし
8. その他

1. 会長挨拶

大山 研司
茨城大学理工学研究科 教授

2. 第8期幹事会構成

会 長	：	大山	研司	(茨城大学)
副会長	：	足立	匡	(上智大学)
会計担当	：	飯沼	裕美	(茨城大学)
行事担当	：	大石	一城	(CROSS)
		山田	悟史	(KEK)
		原田	雅史	(豊田中研)
広報担当	：	加美山	隆	(北海道大学)
庶務担当	：	梅垣	いづみ	(KEK)
		二宮	和彦	(大阪大学)

3. 令和4年度活動報告

① 今年度の活動まとめ

幹事会：3回開催
分科会：5つの分科会が研究会開催
総会：3月13日開催

自動入会システムの導入

- 分科会活動：中性子産業利用推進協議会、茨城県中性子利用研究会、CROSS等と連携して研究会を開催
- 共催事業：サイエンスフェスタや中性子産業利用報告会等の活動を共催
- 会員への情報提供サービス：課題募集、各種会合・行事等の情報提供
- 一般会員・協賛会員の勧誘活動

会員の入退会状況について

2023年3月

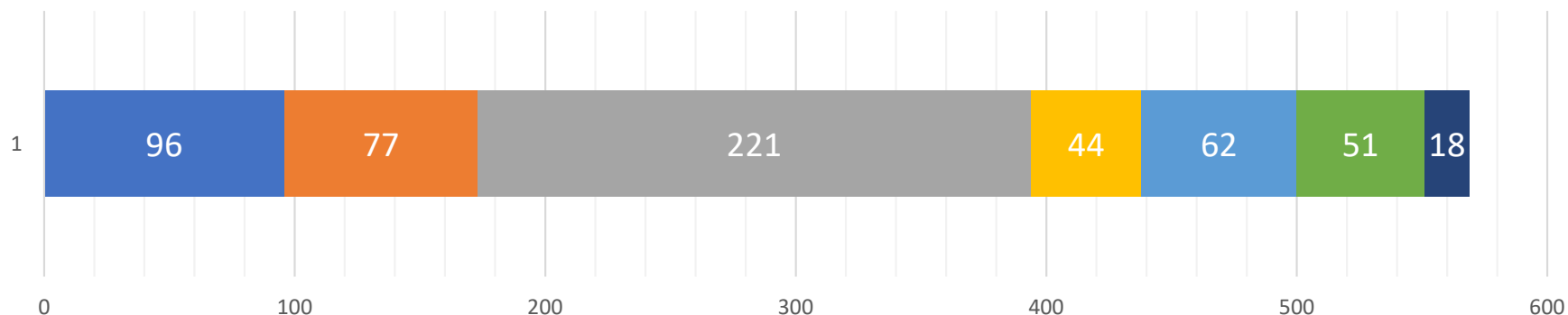
区分	2019年度 総会時	2020年度 総会時	2021年度 総会時	現在
会員	423名	408名	409名	569名
協賛会員	19社	20社	20社	20社



自動入会システムにより、会員数が大幅増

所属別構成員数

■ J-PARC ■ 研究機関 ■ 大学 ■ 学生 ■ 産業界 ■ 海外 ■ その他



② MLF利用者懇談会幹事会の開催

■令和4年6月6日（第1回）

- 分科会の今後について
休止分科会の対応
施設に実現してほしい研究会、分科会を調査
- J-PARCワークショップの利用懇推薦枠について
- 利用懇HPの英語化について
外国のユーザーへ向けてHPを英語に対応

■令和4年12月6日（第2回）

- 分科会の今後について
休止分科会の廃止の検討
新規分科会を立ち上げる際のルールの設定
単発の研究会の支援の枠組み

■令和5年2月28日（第3回）

- 決算、予算
- 分科会の廃止、新設の議論
- 総会対応

③ 分科会活動

令和4年度は下記の分科会活動を実施済である。

■微量分析・非破壊検査分科会

(令和4年度中性子イメージング研究会)

2022年9月14日-15日 エッサム神田1号館2階多目的ホール

■基礎物理・原子核分科会

(2022年度KEK物構研 S1型課題 中性子・ミュオン合同研究会)

2022年12月15日-16日 KEK東海1号館＋オンライン

■重水素材料研究分科会

(J-PARC Workshop 2022, Deuterium Science Entering a New Phase)

2023年1月19日-20日 AQBRC 2階会議室

③ 分科会活動(予定)

令和4年度は下記の分科会活動を実施予定である。

■液体・非晶質分科会

2023年3月16日 KEKつくば4号館3階輪講室＋オンライン(予定)

■生命物質分科会(構造生物学研究会)

2023年3月22日 オンライン(予定)

④ 分科会の活性化・勧誘活動

- 分科会活動の見直し（名称変更、休止分科会の検討）
- 分科会主催研究会の開催費支援、広報
- J-PARCワークショップへの推薦
- 若手研究者の支援

⑤ MLFとの共同活動

- ユーザーアンケートの実施（2023/1/5～1/31）
- 要望書の提出

重水素材料研究分科会

研究分野：重水素化合物の生成とその利用に関して

代表者：佐治木弘尚(岐阜薬科大学)

副代表者：安達基泰(QST)

幹事：阿久津和宏(CROSS)

液体・非晶質分科会

研究分野：構造、ダイナミクス

代表者：吉田亨次(福岡大学)

副代表者：久保謙哉(国際基督教大学)、鈴木賢太郎(JAEA)

ソフトマター・反応分科会

研究分野：高分子、有機物、界面、反応、気体

代表者：松葉豪(山形大学)

副代表者：高野敦志(名古屋大学)

生命物質分科会 (構造生物学研究会)

研究分野：タンパク質、DNA、薬品、ダイナミクス

代表者：佐藤衛(横浜市立大学)

副代表者：杉山正明(京都大学複合原子力科学研)

R5年度幹事会
分科会の再構築
新設のルールの方策

半導体分科会

※R5年度より名称変更を検討中。

研究分野：研究分野：水素、ひずみ、電子密度

代表者：竹下聡史(KEK)

副代表者：伊藤孝(JAEA)

基礎物理・原子核分科会研究分野：素粒子、原子核、光学、原子分子、 μCF

代表者：清水裕彦(名古屋大学)

副代表者：下村浩一郎(KEK)

微量分析・非破壊検査分科会

※R5年度より「非破壊検査分科会」へ名称

第3回幹事会にて承認

研究分野：ラジオグラフィ、PGA

代表者：鬼柳善明(北海道大学)

副代表者：斎藤泰司(京都大学複合原子力科学研究所)

解析・pdf 解析分科会

廃止

研究分野：構造解析、構造物性、セラミックス、格子欠陥、残留応力、集合組織、ナノ結晶、結晶子、フォノン、量子拡散

電池材料分科会

廃止

研究分野：電池開発、電池材料研究とその利用に関して

磁性・強相関分科会

廃止

研究分野：高温超電導、磁性材料、磁性基礎一般

⑥ 行事の主催

【主催】

- ・2022年度量子ビームサイエンスフェスタ(第14回MLFシンポジウム)
2023年3月13日 オンライン
- ・液体・非晶質研究会
2023年3月16日 オンライン
- ・中性子構造生物学研究会
2023年3月22日 会場開催＋オンライン

⑥ 行事の共催

【共催】

- ・令和4年度中性子産業利用報告会 2022年7月14日-15日 会場開催
- ・2022年度第1回(第30回)iBIX研究会 2022年9月20日 オンライン
- ・中性子・ミュオン合同S型課題研究会
2022年12月15日-16日 KEK東海一号館
- ・2022年度第2回(第31回)iBIX研究会 2022年12月22日 オンライン
- ・J-PARC Workshop 2022, Deuterium Science Entering a New Phase
2023年1月19日-20日 オンライン
- ・2022年度iBIX-JAXA-KEK物構研-QST合同タンパク質研究会
2023年2月27日 オンライン

⑥ 行事の協賛

【協賛】

- ・電池材料研究会 2022年5月10日 オンライン
- ・生物・生体材料研究会 2022年7月27日 オンライン
- ・令和4年度中性子イメージング研究会 2022年9月14日-15日 会場開催
- ・第8回大型実験施設とスーパーコンピュータとの連携利用シンポジウム
2022年9月30日 会場開催
- ・金属材料研究会 2022年9月26日 会場開催
- ・第26回CROSSroads Workshop「データ解析ソフトウェアの紹介パート2」
2022年10月14日 オンライン
- ・有機・高分子材料研究会 2022年10月17日 オンライン

⑥ 行事の協賛、後援

【協賛】(続き)

- ・生物・生体材料研究会 2022年12月6日 オンライン
- ・2022年度 磁性材料研究会 2023年1月11日 オンライン
- ・ものづくり基盤研究会 2023年3月6日 オンライン
- ・中性子小角散乱研究会 2023年3月16日 会場開催

【後援】

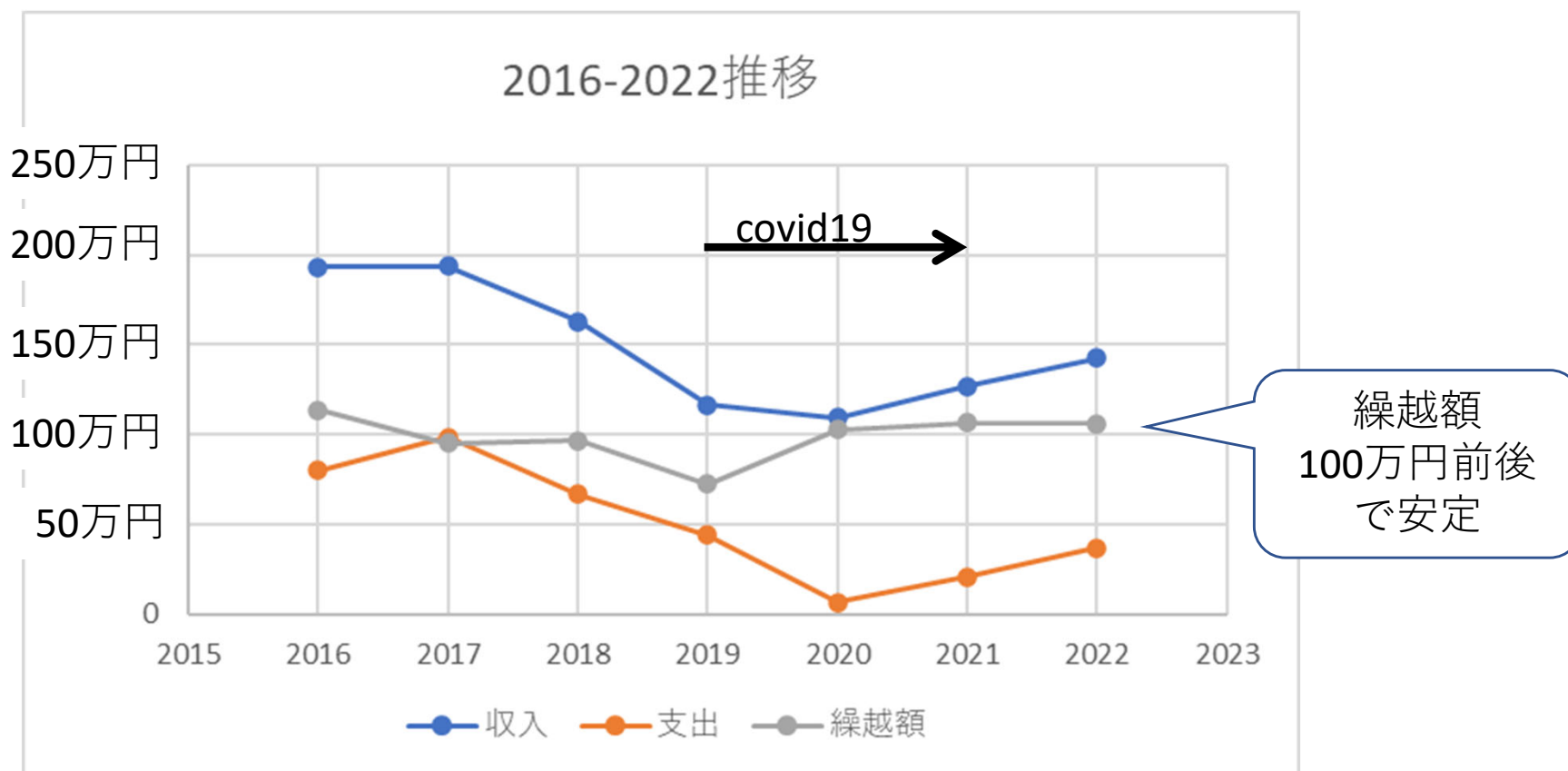
- ・第6回中性子・ミュオンスクール 2022年12月12日-16日 会場開催＋オンライン

4. 令和4年度決算見込み

※赤字は未確定

科目	収入額	支出額	備考
収入			
前年度からの繰越	1,064,758		
協賛会員からの会費	190,000		19社x10,000円（1社未納入）
企業展示等	170,000		出展2社（協賛会員2社×70,000円） 広告1社（協賛会員1社×30,000円）
雑収入	10		利息
収入合計	1,424,768		
支出			
1. 事業費			
(1)総会 幹事会		0	
(2)分科会		45,000	単独開催70,000円×0、共催15,000円×3
(3)サイエンスフェスタ		173,828	トロフィ代58,410円、円筒/賞状用紙代1,303円、 プログラム集代105,600円、展示ブース代8,515円
(4)MLF産業利用成果報告会		70,000	会場開催
(5)中性子ミュオンスクール		0	予算の不足なく実施できたためMLF利用懇から支出はなし。
(6)その他			
2. 管理費		44,232	KDDI クラウドサービス料金（1,826円/月 12ヶ月分） KDDI 専用サーバーサービスホスティング料金（3,960円/年） HP英語化代（18,360円/1回）
3. 予備費		0	
支出合計		333,060	
次年度への繰越		1,091,708	

補足資料：過去6年の繰り越し金額推移



5. 令和5年度活動計画

- **分科会の再構成
新設のルール確定**
- **MLFへの要望書の作成（4月より議論開始）**
- **利用懇の国際化（英語化）への検討を開始**

以下は例年通りの活動

- **分科会活動：中性子産業利用推進協議会、茨城県中性子
利用研究会、CROSS等と連携して研究会を開催**
- **共催事業：サイエンスフェスタや中性子産業利用報告会等の
活動を共催**
- **会員への情報提供サービス：課題募集、各種会合・行事等の
情報提供**
- **一般会員・協賛会員の勧誘活動**

6-1. 令和5年度予算案

※赤字は未確定

サイエンスフェスタがハイブリット（会場+オンライン）開催の場合

科目	収入額	支出額	備考
収入			
前年度からの繰越	1,091,708		R4年度決算見込みより
協賛会員からの会費	200,000		20社x10,000円
企業展示等	620,000		H29年度実績（水戸会場で開催）
雑収入	10		利息
収入合計	1,911,718		
支出			
1. 事業費			
(1)総会 幹事会		0	
(2)分科会		270,000	R5年度 活動調査結果を反映 （単独開催70,000円×3、共催15,000円×4）
(3)サイエンスフェスタ		418,870	H29年度実績（水戸会場で開催）
(4)MLF産業利用成果報告会		70,000	R4年度決算見込みより
(5)中性子ミュオンスクール		50,000	R4年度第1回幹事会にて増額を決定
(6)その他			
2. 管理費		44,232	KDDI クラウドサービス料金（1,826円/月 12ヶ月分） KDDI 専用サーバーサービスホスティング料金（3,960円/年） HP英語化代（18,360円/1回：R4年度実績）
3. 予備費			
支出合計		853,102	
次年度への繰越		1,058,616	

7. 審議事項

8. その他